

地下鉄事業者の基準単価・基準コスト等について

地下鉄事業者（地下鉄事業者とは、東京地下鉄株式会社、札幌市交通局、仙台市交通局、東京都交通局、横浜市交通局、名古屋市交通局、京都市交通局、大阪市交通局、神戸市交通局及び福岡市交通局の10社の総称です。）の基準単価・基準コスト等は、次のとおりです。

1. 基準単価

平成16年8月1日以降に地下鉄事業者が運賃改定の申請を行う場合の基準単価の算定は、次式により行います。

$$\text{基準単価 } y = ax_1 + (bx_2) + c$$

(1) 線路費

y = 線路延長1キロ当たり基準単価

$$a = 21,584.684$$

$$c = -97784.582$$

x_1 = 車両密度（対数）

（線路費とは、線路や路盤の維持補修、作業管理に要する経費です。）

(2) 電路費

y = 電線延長1キロ当たり基準単価

$$a = 7.911$$

$$b = 98.681$$

$$c = -640.429$$

x_1 = 電車密度 x_2 = 電車線割合

（電路費とは、電車線や信号設備等の維持補修、作業管理に要する経費です。）

(3) 車両費

y = 車両1両当たり基準単価

$$a = 8.822$$

$$c = 1485.371$$

x_1 = 1両当たり輸送人員

（車両費とは、車両の整備補修、作業管理に要する経費です。）

(4) 列車運転費

y = 営業キロ当たり基準単価

$$a = -207.428$$

$$b = 217253.503$$

$$c = -955076.893$$

x_1 = ワンマン運転営業キロ割合 x_2 = 列車密度（対数）

（列車運転費とは、列車の運転や作業管理に要する経費です。なお、動力費は含まれていません。）

(5) 駅務費

y = 1駅当たり基準単価

$$a = 176291.578$$

$$c = -1302170.927$$

x_1 = 1駅当たり乗車人員（対数）

（駅務費とは、駅の維持や乗車券の発行等に要する経費です。）

2. 地下鉄事業者の平成15年度の基準単価、基準コスト、実績コスト等の状況

平成15年度の基礎データに基づき算出した基準単価、平成15年度の施設量及び基準単価に施設量を乗じて算定された基準コストの合計額並びにそれに対応する実績コストの合計額は、以下のとおりです。

なお、基準コストは、鉄軌道業の各種経費のうち、各社共通で比較可能な線路費、電路費、車両費、列車運転費及び駅務費の5費目（ヤードステック対象経費という。）についてその基準となるコストを示すものであり、輸送サービスの質や事業全体の評価を行うものではありません。

ちなみに、地下鉄事業者の鉄軌道業の営業費用に占めるヤードステック対象経費の割合は10社平均で、53%です。

（1）基礎データ

	線路費	電路費		車両費	列車運転費		駅務費
	x1	x1	x2	x1	x1	x2	x1
東京地下鉄	6.472	468.345	19.368	824.685	12.773	5.132	9.421
札幌市	5.902	301.787	17.123	504.644	0.000	4.806	8.333
仙台市	5.460	164.289	23.923	650.726	100.000	4.763	8.076
東京都	6.188	358.332	18.616	674.530	61.651	4.906	8.848
横浜市	5.772	288.455	14.763	693.158	0.000	4.680	8.531
名古屋市	5.984	315.908	23.948	544.798	19.527	4.941	8.423
京都市	5.763	249.986	20.624	557.299	48.106	4.722	8.309
大阪市	6.119	374.414	14.742	701.381	12.976	4.927	8.934
神戸市	5.737	219.174	15.566	511.909	25.817	4.713	8.318
福岡市	5.818	246.475	19.657	726.194	100.000	4.823	8.562

（2）基準単価

基準単価は、（1）の基礎データを基準単価算定の式に代入して求めます。

（単位：千円）

	線路費	電路費	車両費	列車運転費	駅務費
東京地下鉄	41,911	4,976	8,761	157,219	358,672
札幌市	29,608	3,437	5,937	89,043	166,867
仙台市	20,068	3,020	7,226	58,959	121,560
東京都	35,781	4,031	7,436	97,981	257,657
横浜市	26,802	3,098	7,600	61,670	201,773
名古屋市	31,378	4,222	6,292	114,322	182,733
京都市	26,608	3,372	6,402	60,816	162,636
大阪市	34,292	3,776	7,673	112,640	272,818
神戸市	26,047	2,630	6,001	63,484	164,222
福岡市	27,795	3,249	7,892	71,994	207,238

(3) 施設量

	線路延長	電線延長	車両数	営業キロ	駅数
	(キロ)	(キロ)	(両)	(キロ)	(駅)
東京地下鉄	394.0	2,810.3	2,515	183.2	168
札幌市	96.0	679.8	404	48.0	49
仙台市	29.5	176.4	84	14.8	17
東京都	228.1	1,665.2	1,094	109.0	106
横浜市	81.4	613.7	234	40.4	32
名古屋市	165.7	869.4	752	80.4	90
京都市	54.5	336.5	204	26.4	28
大阪市	236.2	1,945.5	1,200	115.6	111
神戸市	61.6	560.2	208	30.6	26
福岡市	39.5	274.2	144	17.8	20

(4) 基準コスト合計額
及び実績コスト合計額

	基準コスト	実績コスト
	(百万円)	(百万円)
東京地下鉄	141,590	146,029
札幌市	20,028	18,771
仙台市	4,671	4,917
東京都	61,001	55,156
横浜市	14,810	13,756
名古屋市	39,239	33,080
京都市	10,050	11,092
大阪市	67,958	76,663
神戸市	10,538	10,111
福岡市	8,551	7,657

(注) 「基準コスト合計額」は、線路費、電路費、車両費、列車運転費及び駅務費のそれぞれについて(2)基準単価に(3)施設量を乗じて算定した基準となるコストの合計であり、実績コスト合計はそれに対応する実績の支出額です。